

# ひきこもりの人 施設へ強制

## 「引き出し業者 注意を」

### 市民グループ 都に要望書

ひきこもりの人を本人の意に反して自立支援施設などに入れて、依頼した親などに高額な報酬を求める業者が問題化している。こうした業者は「引き出し業者」と呼ばれており、ひきこもりの経験者らで作る市民グループは25日、東京都に業者の実態把握や苦情相談の仕組みなどを求める要望書を提出した。業者を巡るトラブルについては、消費者庁も昨年からの注意喚起しており、「少なくとも年に20件ほど相談がある」という。



東京都の担当者（左）に要望書を提出するグループのメンバー（25日、東京都庁で）

グループでは、川崎市で起きた殺傷事件などでひきこもりが注目されたことで、不安を感じた親たちが安易に業者を利用してしまふことを危惧し、要望書を提出した。

グループによると、引き出し業者は、親らの依頼を受けて自宅を訪れ、長時間の説得や威圧的な態度で、ひきこもりの人に施設入所を迫り、数百万円に上る報酬を求めるケースもあるという。すでに、施設を運営

する都内の業者を相手取った損害賠償請求訴訟などが複数、東京地裁に提起されている。

厚生労働省によると、昨年2月時点で、ひきこもりの人を対象にした入所・宿泊型の民間の自立支援施設

### 「恐怖で震え止まらさず」 30代女性

この日、グループと一緒

に都庁を訪れた千葉県内の30代女性は、2017年秋、都内の施設に入所させられた。「恐怖で震えが止まらなかつた」と当時を振り返る。

女性はうつ症状で2年ほどひきこもりがちだった。突然、母親が申し込んだ施設のスタッフだという男女4人がやってきて、施設入所を勧められ、拒否しても8時間にわたって説得された。女性は、部屋着のまま車に乗せられ、施設に連れて行かれたという。

施設では、部屋に閉じこめられ、女性が飲食を拒否

は、全国に51か所。ただし、法的な規制はなく、支援内容や運営に関する基準もないのが実情だ。

グループと連携するKH J (Kazoku Hikikomori Japan)

n(全国ひきこもり家族会連合会(東京)の池上正樹広報担当理事は「悪質な業者は適切なプログラムやケアを行っておらず、ひきこもり状態をさらに悪化させ、親子関係を断絶させる恐れがある」と指摘している。

レス障害にも悩まされたといい、「同じ思いをする人を増やさないためにも、悪質な業者を規制する基準や制度を整備してほしい。親も安易に業者に頼らないでほしい」と訴えている。

グループでは、川崎市で起きた殺傷事件などでひきこもりが注目されたことで、不安を感じた親たちが安易に業者を利用してしまふことを危惧し、要望書を提出した。

グループによると、引き出し業者は、親らの依頼を受けて自宅を訪れ、長時間の説得や威圧的な態度で、ひきこもりの人に施設入所を迫り、数百万円に上る報酬を求めるケースもあるという。すでに、施設を運営

する都内の業者を相手取った損害賠償請求訴訟などが複数、東京地裁に提起されている。

厚生労働省によると、昨年2月時点で、ひきこもりの人を対象にした入所・宿泊型の民間の自立支援施設

ついで、毎雇用時(氏)責  
金、十算する(き)一  
※ 年